

平成23年度事業活動計画（案）について

I. 方針

平成20（2008）年秋のリーマン・ショックを発端とする世界的不況により、長野県産業も業績の落ち込みや雇用の減少といった深刻な打撃を受けました。多くの企業はこれまでになく支出を抑え、厳しい情勢を凌いで来ました。やっと昨年度になって電気・電子機器や産業機械といった県下の製造業では、中国をはじめとする新興国の需要増を背景に、緩やかな回復が見られるようになりました。また、スキー客や宿泊客の減少が続く観光業も、高速道路料金の割引といった政策効果や、台湾やオーストラリア等の海外宿泊客の増加が好材料となって健闘しました。

ところが、去る3月11日東日本大震災、翌3月12日には長野県北部地震と災害に見舞われて様相は暗転、再び大きな閉塞感に覆われてしまいました。県下も自粛ムードと共に、以降の経済活動にどこまで影響が及ぶのかと懸念が広がっているところです。

しかし、過度の自粛は返って被災地の復興を遅らせることにもなり、ここは各々が社会・公益のためにできること、役立つことを着実に遂行することが肝要との見識も高まっています。そして、デザイン業の振興によって県下産業の発展に寄与することを使命とする当協会には、こんな折こそ率先して持続可能な明るい将来を描いて欲しいとの期待も寄せられています。

踏まえて当協会は、県下に潜在する地域資源を活かし他にはない魅力あるモノの創出・提供を引き続き積極的に推進して、改めてこの信州をブランド先進県にすることを目指し活動して参りたいと思います。そして、長野県産業を担う強い地元のデザイン業になるという設立来の想いを持続し、結束して次の3つの方針で活動に取り組んで参ります。

1. 「ブランド先進県・信州」の共有と、それを実現する仕組みの構築を目指し、県下産・学・官の協調を推進する
2. デザイナーやプロデューサーをはじめ、信州から発するブランドづくりを担える専門性を有する人材を養成すると共に、ネットワークを広げる
3. 会員の特性を活かして県下の支援要請に着実に応えられる体制を整え、事業化の基になる成果を生み出し、発信して理解と賛同を広げる

Ⅱ. 事業活動項目

1. 県下独自のブランドづくりを促進・支援する活動

(1) 県下のブランドづくりやデザインの実践支援【継続】

- 県下の事業者（企業・団体・自治体等）から寄せられる支援要請に、県地域資源製品開発支援センター他関係機関（県企画部、商工労働部 等）と協調し、適する専門性を有する会員を派遣して、新商品開発や販売促進等独自のブランドづくりに繋がる支援を行う : ブランドづくりネットワーク信州

(2) ブランドづくり戦略・手法の研究【継続】

- 県下の地域資源を活かしたブランドづくりの戦略や手法について研究会・講演会等を開催し、専門性を高める : ブランドづくりネットワーク信州

2. 県下デザイン業の競争力を高め、ビジネスを活性化する活動

(3) 「長野県デザインビジネスガイド」の改訂【継続】

- 現行の「デザインビジネスガイド」について、業務受託契約や知財化等内容を現状に即して見直し、改訂する : ビジネス支援委員会

(4) 「長野県デザイン事業所リスト」の拡充【継続】

- 昨年当協会の Web.サイトにリニューアル掲載した「長野県デザイン事業所リスト」について、更に当協会会員の登録事業所を増やし、県下事業者のニーズにより一層応えられる情報を提供する : ビジネス支援委員会+ネットワークコミュニケーション推進部会

(5) ブランドづくりやデザインのスキルアップ研修の開催【継続】

- 県下の事業者（企業・団体・自治体等）やデザイナー・クリエイターが、ブランドづくりやデザインを実践するための専門性を高める研修を企画・開催する : 人材開発育成委員会

(6) コミュニケーショングラフィックス技術を高める研究会・交流会の開催【継続】

- 当年度研究テーマを「プロジェクター映写の新技术を用いた映像のデザイン」とし、実用化を見据えたコンテンツ制作を試行して、成果を発表・提案する : コミュニケーショングラフィックス研究部会
- 上記の研究テーマを推進する中で、必要に沿って外部の専門家を招き、交流会を開催する : コミュニケーショングラフィックス研究部会

(7) ユニバーサルデザインを普及・啓発する研修会・研究会の開催【継続】

- ユニバーサルデザインについて、会員や県下の事業者へ知識レベルの向上や意識の共有を進める研修会を開催、併せてデザインコンペのユニバーサルデザイン賞審査を行う : ユニバーサルデザイン研究部会
- ユニバーサルデザイン事例の評価を行い、評価手法の熟成とノウハウを蓄積する研究会を開催する : ユニバーサルデザイン研究部会
- 調査・研究の成果等を取りまとめ、主に当協会 Web. サイトに掲載して情報発信する : ユニバーサルデザイン研究部会+ネットワークコミュニケーション推進部会

3. ユーザーのデザイン理解促進と生活文化向上に貢献する活動

(8) デザイン情報誌（会報）の編集・発刊【継続】

- 県下のデザインに関する情報を会の活動と合わせて編集・発刊する : 広報・PR委員会

(9) 協会 Web.サイトの運営・管理【継続】

- 会の活動を編集して Web. サイトで発信し、インターネットによるコミュニケーションを推進する（「メンバーズトーク」「長野県のデザイン事業所」等の独自企画、また委員会・部会活動や協会の催し等の紹介等、関係者と協調したページづくりを行う） : ネットワークコミュニケーション推進部会

(10) 「デザインキャンプ松本」を継承する催しの検討【新規】

- 昨年第 20 回の開催をもって終了した「デザインキャンプ松本」の趣旨を引き継ぎ、中信地域でデザイン振興に繋がる催しについて検討する : デザインキャンプ推進部会

4. 組織運営・強化活動（会員の交流促進と会員拡大活動等）

(11) 会運営の全体調整・まとめ【継続】

- 会全体の運営を調整・審議し、方向・施策を取りまとめる : 総務企画委員会

(12) 会員の勧誘・拡大【継続】

- 会の趣旨や活動を告知し、入会を促進する : 総務企画委員会

(13) 会員相互の交流促進【継続】

- 会員及び関係方面との相互の交流の場を設ける : 総務企画委員会

(14) 設立 10 周年記念事業の開催【新規】

- 当協会設立 10 周年を記念した事業（記念誌編纂、懇親会開催、協会旗作成等）を企画・開催する : 総務企画委員会

(15) 法人化の検討【継続】

- 会が有する専門性を活かし、県下の産業の発展により実践的に貢献するための法人化のあり方を検討する : 総務企画委員会

5. 協調して県下のブランドづくり及びデザインを振興する活動

(16) 「信州ブランドアワード 2011（第 8 回）」の開催【継続】

- 信州発の優れたブランドをノミネートして選考し、表彰・発表する : 信州ブランドアワードノミネート委員会（信州ブランドフォーラム開催実行委員会内）

(17) 「デザインコンペ "LIFE DESIGN 信州 2011（第 5 回）"」の開催【継続】

- 県下のブランドづくりを担う地元のデザイナーやクリエイターを育成・支援するデザインコンペを開催する : 信州デザインコンペ推進委員会（信州ブランドフォーラム開催実行委員会内）

(18) 「信州ブランドフォーラム 2011（第 8 回）」の開催【継続】

- 県下独自のブランドづくりを促進するコンセンサス形成の場として、産・学・官が協調し「講演会」「討論会」「事例・研究発表」「展示会」「交流会」等を開催する : 信州ブランドフォーラム開催実行委員会（県デザイン振興協会・長野県・県経営者協会・県商工会議所連合会・県中小企業団体中央会・県商工会連合会・信州大学・長野大学）

6. 要請に応じ、県下のブランドづくりとデザインを支援する活動

(19) 適宜前向きに対応する

Ⅲ. 主要会務（主要役員会・総会・理事会）開催日程（予定）

日 時	会 務	会 場
2011年6月2日（木） 13:30～	主要役員会・通常総会	長野市生涯学習センター
8月25日（木） 13:30～	主要役員会・理事会	塩尻市民交流センター
2012年2月23日（木） 13:30～	主要役員会・理事会	塩尻市民交流センター

※ 各主要会務は、本会事務局より改めて該当役員に開催を通知する

※ 常設委員会・部会の会務は、各々の活動計画に沿って随時開催（各常設委員会・部会事務局よりメンバーに案内）する

※ 主要役員会他の役員会・事務局会議は、運営状況に沿って随時開催（本会事務局より該当役員に案内）する